

Catalogue No.
20693-11

番外編 | 特注品の製作

あなただけのオリジナルの作成

1 打ち合わせ

お客様とご希望のデザイン・サイズ・色などの依頼イメージの打ち合わせをします。産地取引商社がメーカーの設備内容・必要最低ロットなどを基に、対応出来そうなメーカーを探します。

2 デザインの作成

産地商社がお客様と打ち合わせたデザイン案を陶磁器試験場や製造受け入れメーカーに依頼し、3Dプリンタや手造りなどの方法で実際のデザイン案を作成します。

3 型の作成、色柄決め

試験場で仕上がったデータや手造りのサンプルを基に型屋さんにて原型やサンプル型を製造していきます。同時進行でご希望の色のテストや柄の打ち合わせを進めていきます。

4 サンプルの作成

メーカーに出来上がったサンプル型を使用して数個サンプル生地を製造してもらいます。工程3で打ち合わせた色・柄をサンプル生地に施工し製品サンプルを作成していきます。

5 量産に向けての調整

出来上がったサンプルをお客様に確認して頂きます。仕上がりにご納得頂いた後、使用型など本生産に必要な資材を造り、本生産となります。

※ご依頼内容で工程の前後発生する可能性があります。

POINT

- ①商品納期はご依頼内容で前後しますが、途中修正が無い場合でも最低6か月、途中修正内容が多い場合12か月以上お時間を頂く場合がございます。
- ②取引商社によっては特注対応ができない場合がございます。
- ③各工程の費用は取引商社にお問い合わせください。
- ④ご不明な点は各取引商社にお問い合わせください。
- ⑤メーカーごとに最低ロットが異なりますので取引業者にお問い合わせください。

STEP 1

番外編

特注品をつくるならここに注意!

STEP 3

成形

かたちを立ち上げる

成形(せいけい) | かたちを立ち上げる

土が器に変わる、魔法のような瞬間。

型ができたら、いよいよ器の成形へ。粘土や泥しょうを型に流し込み、吸水性のある石膏が水分を吸収することで、器の形ができあがります。形状によって、ローラーマシンで成形したり、圧力をかけて成形するなど、方法もさまざま。「土」が「うつわ」へと姿を変える、ものづくりの真骨頂です。

いこみ屋さんのひとこと

COMMENT

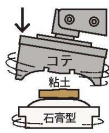
型から抜くときは、
毎回が真剣勝負。
指の感覚が頼りなんですよ。



3

ローラーマシン

皿や碗の正円の回転体はローラーマシンで生産可能です。



加熱したコテが回転しながら下りる



コテと石膏ではさむように成形

圧力いこみ

ローラーマシンでは難しい変形ものは圧力いこみで生産されます。



石膏型を積み圧力をかけて泥しょうを送る



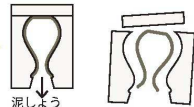
石膏が水分を吸収して固まる

排泥いこみ

とっくりや花瓶などが空洞で袋状のものは排泥いこみで生産されます。



泥をガバッと出す事からガバいこみとも言います



目指す厚みで泥しょうを排出すると石膏に吸着した部分だけが残る

素焼き 約800℃で6~8時間粘土の水分を抜くために焼く。吸水性が高まり施釉がしやすくなる。